

事業所名	放課後等デイサービス ポピー
------	----------------

公表日 2026年2月20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	マンツーマンが必要な時にはできる限り児童発達優先で配置しています。またそれには職員間の連携で全体を見守る配置など役割分担が状況に応じて必要で、声を掛け合っています。	児童発達支援と放課後等デイサービスの同時支援のため、人員基準を満たしていますが、それ以上に配置の不足感を現場レベルで感じているところです。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			7	階段の上り下りで職員がマンツーマン対応しています。	2階設置というところで、階段についてバリアフリーの観点からは課題を感じています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	リアルタイムで消毒を行なっています。1時間に3分から5分の換気を管理表を用いて行なっています。ジョイントマットは毎日の消毒を行なっています。	ジョイントマットの白地の部分の汚れが目立っています。消毒清掃で間に合わない部分は交換を行います。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	プレイルームと課題（食事）の区分けがありますが、必要に応じて静養室も選択できるようにしています。	静養室使用はマンツーマンであるため、状況によっては人数が多い部屋の職員が不足することが考えられます。パーティションを増設するなど、区分けによっても個別のスペースが確保しやすいように設備投資していきま	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			7		今後どのような時に外部評価が必要か検討致します。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	月に3回以上社内での勉強会でビデオ学習しています。	研修の量はありますが、対面での研修など、質の部分が求められています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			7		独自のツールを使用していますが、標準化されたアセスメントの使用には至っていません。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	平日は外周の清掃を行い、地域の皆様と挨拶を交わすことで、連携の足がかりを作っています。	地域支援・地域連携において課題を感じています。集団での移動を訓練し、地域活動に参画することが目標です。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1			担当が意見を集める形になっていますが、会議形式で意見を集めることも有効だと思います。今後その機会を増やしていきたいと思っています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1			活動が固定化していると課題意識を持った職員がいることは、ありがたいことです。全員で固定化しないよう、アイデアを出し合いながら、新鮮な刺激がある活動プログラムにしていきたいと思っています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		7		支援終了後のケア記録、送迎で終了時刻に達していません。ケア記録時に情報交換を行っていますが、全員揃って振り返るのは翌日になっています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	お互いの施設の見学や、送迎時の情報交換、会議への参加をしています。	頻度という意味では課題としています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	幸い、モニタリングでセンターの職員様がいらっしゃるため、助言等を受ける機会があります。	積極的に今月は何を質問するかなど、まとめて記録していくことでより周知に繋がりたいと思います。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		実績がありません。ニーズにも耳を傾けながら検討します。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7	今後も研修の機会に参加します。	研修を受講していますが、今後も研修を重ねて具体的なプログラムが組めるまでに至っていません。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7				

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	不定期ですが、保護者の方が開いている会を広報することがあります。	主体的には至っていません。保護者様同士のつながりを大切にしつつ、それと同時に個別の相談体制も大切にしながら、自由度の高い選択肢を提供できるようにしていくことが課題です。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	3	ブラウザのシステム連絡帳（HUG）の使用をもって代用しています。行事予定も配信しています。	既読数など、ツールの啓発に課題があります。推進致します。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	名古屋で実績があります。	三重県での実績がなく、今後の課題です。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		7		全てマニュアルがありますが、特にご家族様への周知が遅れています。配布もしくはHPで閲覧できるような仕組みなど検討致します。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7				
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7				
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	該当の方がいたケースでは、保護者様とも協議し、アレルギー物質を避ける対応をしたことがあります。徐々に慣らしていく対応については指示書があっても事業所では慎重になっています。	医師の指示書が伴う食物アレルギーの方が現在はいません。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7				
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7				
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7				
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7					